

事務事業評価表 平成23年度

政策 安全で快適な都市生活の充実  
 施策 交通環境の充実  
 基本事業 安全で快適な道路づくり

事業名 **中原通り道路工事関連用地取得事業**

[0924]

部名	建設部	事業開始年度	平成22年度	実施計画事業認定	非対象
課名	管理課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 土地 (中原通りと市道接続部の隅切用地)
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 公共事業の為に必要な土地を確保し、当該道路の整備を行う
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) ・公共事業用地内の土地や支障物件の評価 ・算定価格に基づく地権者との協議 ・地権者合意に基づき、当該道路整備に必要な土地を取得 ・売買契約締結後の登記事務

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度実績	23年度当初
対象指標1	地権者数	人			7	6
対象指標2						
活動指標1	評価件数	件			1	6
活動指標2	交渉回数	回			4	24
成果指標1	契約地権者数	人			1	6
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	0	0	102	821
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,612	1,629
<b>総事業費 (A) + (B)</b>		千円	0	0	1,714	2,450

費用内訳	
22年度	委託料 30千円、公有財産購入費 72千円

## 事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	公共用地取得に関する協議は、年々厳しさを増しており、今後さらに困難な状況になると考えられる。
------------	--	---------------------	--

## 22年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業  
妥当である  
妥当性が低い

理由・  
根拠は？

公共事業に伴う用地補償であり、市が行う業務である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい  
貢献度ふつう  
貢献度小さい  
基礎的事務事業

理由・  
根拠は？

江別の顔づくり事業の1事業として実施し、都心地区の整備と充実に図り、より快適な市民生活を目指している。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている  
どちらかといえばあがっている  
あがらない

理由・  
根拠は？

当該道路整備は概ね予定どおり進んでいる。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大  
成果向上余地 中  
成果向上余地 小・なし

理由・  
根拠は？

当該道路整備は、北海道が事業主体として施行していることから、江別市の進捗は北海道の施行状況に左右される。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある  
ない

理由・  
根拠は？

用地補償費は積算基準に基づく積み上げ方式となっており、コスト削減は困難である。また、土地等に対する権利意識の変化に伴い、地権者との協議には時間を要する。